

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	民間保育所整備助成事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	2	1	○
政策	誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります	担当課室	幼児保育課			
施策	健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	担当課室長	田口 慎治			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容		③令和3年度に取組む改革・改善内容	令和3年度は民間事業者による保育所等の整備に伴い助成を行う。
②①に基づく取組み結果			

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	民間事業者による保育所整備	意図(対象をどうするのか)	待機児童の解消及び保育サービスの拡大
②事務事業の概要	待機児童対策及び保育サービスの拡大のため、民間事業者による保育所整備の助成を行う。令和2年度は公募により事業者の選定を行い、令和3年度は保育所整備を行う民間事業者に助成を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	待機児童解消及び保育サービスの拡大が求められる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	令和4年4月の開設を目指して、民間保育所等設置運営事業者の公募を実施し事業者を選定した。					
②成果を表す指標	指標名称	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i 公募による事業者の選定				2回	公募回数
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳		令和3年度予算	
事業費(千円)	0	14	金額(千円)	内容	78,618	
国支出金(千円)			14	報償費	69,883	
県支出金(千円)						
市債その他(千円)					6,900	
一般財源(千円)		14			1,835	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	待機児童対策及び保育サービスの拡大のため、民間事業者による保育所等整備のため公募により事業者の選定を行う必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	令和2年度に事業者を決定したため、令和4年度の開設に向けた整備を行うため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	公募の実施	令和2年度事業費の状況(単位:千円)				
		計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	事業者の選定	14	当初	14	R1からの繰越	14
③達成状況	完了		R1⇒R2繰越		14	
④未完了・非着手の理由		令和3年度への繰越額(単位:千円)		0		

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	未就学児交通安全対策事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	2	1	○
政策	誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります	担当課室	幼児保育課			
施策	健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	担当課室長	田口 慎治			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容		③令和3年度に取組む改革・改善内容
②①に基づく取組み結果		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	交通安全点検の結果、対策が必要な箇所	意図(対象をどうするのか)	安全対策を行う
②事務事業の概要	子どもたちが安心して散歩などの園外活動ができるよう交通安全点検を行い、安全対策が必要な箇所について対策を講じる。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	子どもたちが通園や散歩など、安心して園外活動が行えるための対策が求められる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	安全点検で安全対策が必要とした箇所については対策を講じた。					
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	算定根拠
	i	工事実施箇所数			13	交通安全点検で安全対策が必要と指摘された箇所数
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳		令和3年度予算	
事業費(千円)	0	6,805	金額(千円)	内容	0	
国支出金(千円)		3,003	6,805	園外活動道路安全対策工事		
県支出金(千円)						
市債その他(千円)						
一般財源(千円)		3,802				

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	未就学児が日常的に集団で移動する経路について点検を行い、対策が必要な箇所があった。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	交通安全点検の結果、対策が必要な箇所については全て対策を講じたため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	車止め、ガードレール、注意喚起看板、グリーンベルトの設置等		令和2年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費		予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	13箇所について改善した。	7,500	7,500	当初	6,805	R1からの繰越	6,805
③達成状況	完了			R1⇒R2繰越		7,500	
④未完了・非着手の理由				補正			現年分
				流用・充当			
				令和3年度への繰越額(単位:千円)		0	

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	市立保育園の管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	2	4	
政策	誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくれます	担当課室	幼児保育課			
施策	健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	担当課室長	田口 慎治			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	費用対効果を考慮の上、効果的な管理運営方法について常時検証する。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	保育士派遣委託等により必要な保育士を確保する。
②①に基づく取組み結果	保育サービスのあり方や費用対効果を含め、引き続き検討を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	公立保育園	意図(対象をどうするのか)	安全で安心な保育環境の維持及び拡大を図る。
②事務事業の概要	市立保育園が良好な保育環境を維持できるよう管理運営を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	入園希望児童数は増加傾向にあるとともに、障がい児や発達が気になる児及び医療的ケア児等への対応など多様な保育ニーズへの対応が求められている。保育需要の増大に伴い保育士の安定的確保が求められる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	施設の修繕を行い、施設環境を整えた。また保育士の不足に対して会計年度任用職員、派遣委託による職員の配置を行い児童の受け入れに努めた。				
②成果を表す指標	指標名称	平成30年度	令和元年度	令和2年度	算定根拠
	i 待機児童数	0	0	0	人 業務取得
	ii				
	iii				
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳		令和3年度予算
事業費(千円)	332,172	343,676	金額(千円)	内容	332,587
国支出金(千円)	9,135	8,725	115,125	報酬	10,603
県支出金(千円)	9,135	8,725	12,019	職員手当等	10,603
市債その他(千円)			55,063	需用費(賄材料費)	123,080
一般財源(千円)	313,902	326,226	105,128	委託料	188,301

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	保育士を安定的に確保することにより、保育の質の向上を図る必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	引き続き保育士の確保、保育の質の向上を図る必要がある。また施設を良好に維持管理することにより安全・安心な環境を維持する必要がある。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	令和2年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初	0	R1からの繰越	
		R1⇒R2繰越			
③達成状況		補正		現年分	
④未完了・非着手の理由		流用・充当			
		令和3年度への繰越額(単位:千円)			

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	保育園改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	2	4	○
政策	誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります	担当課室	幼児保育課			
施策	健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	担当課室長	田口 慎治			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	実施計画に基づき事業を実施する。施設の老朽化について検証する。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	実施計画に基づき事業を実施する。施設の老朽化に伴う長寿命化について検証する。
②①に基づく取組み結果	予定していた事業を完了した。施設からの要望を反映し、工事期間中の施設運営に対する影響を考慮し、かつ良好な整備環境ができるように設計実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	公立保育園	意図(対象をどうするのか)	安全で安心な保育環境の維持及び拡充を図る。
②事務事業の概要	市立保育園が良好な保育環境を維持できるよう施設の改修を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	施設の老朽化に伴い長寿命化を見据えた改修を実施する。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	粟野保育園外壁・屋上改修工事設計委託、道野辺保育園他2園防火設備改修工事設計委託、道野辺保育園トイレ改修工事の完了。						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	事業実施率(累計)	35	85	100	%	第4次実施計画
	ii						期間中総事業費102,440千円
	iii						実計第4回改訂ベース
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	62,944	36,108	金額(千円)	内容		32,750	
	国支出金(千円)		3,564	粟野保育園外壁・屋上改修工事設計委託			
	県支出金(千円)		3,575	道野辺保育園他2園防火設備改修工事設計委託			
	市債その他(千円)	50,100	28,700	28,969	道野辺保育園トイレ改修工事	26,200	
	一般財源(千円)	12,844	7,408			6,550	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	施設の老朽化に伴う改修を要する箇所が増加。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	市立保育園の良好な保育環境を維持するため、絶えず検証しており、施設の長寿命化を図るべく、トイレのほか計画的な改修工事をはじめ、次年度の改修に向け各種工事の設計委託を実施したため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	粟野保育園外壁・屋上改修工事設計委託、道野辺保育園他2園防火設備改修工事設計委託、道野辺保育園トイレ改修工事	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	工事及び実施設計の完了	43,310	43,310	当初	43,310	36,108	R1からの繰越
③達成状況	完了			補正			現年分
④未完了・非着手の理由		令和3年度への繰越額(単位:千円)				0	